

「平成31年度(令和元年度)岡山県学力・学習状況調査結果」の概要について

1 岡山県学力・学習状況調査の実施状況

(1) 調査の目的

個々の児童生徒の学力・学習状況を全国比較及び経年比較することにより、教育指導や教育施策の改善を図る。

(2) 学力調査の実施日 平成31年4月18日(木)

(3) 実施校数・児童生徒数等

	小学校			中学校	
	第3学年	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
受検校数	290校	292校	292校	119校	121校
県内受検者数	9754名	9832名	9907名	10076名	9603名
全国受検者数	約8万人	約12万人	約15万人	約10万人	約11万人
実施教科等	国語、算数	国語、算数	国語、算数 質問紙	国語、数学 質問紙	国語、数学、英語 質問紙

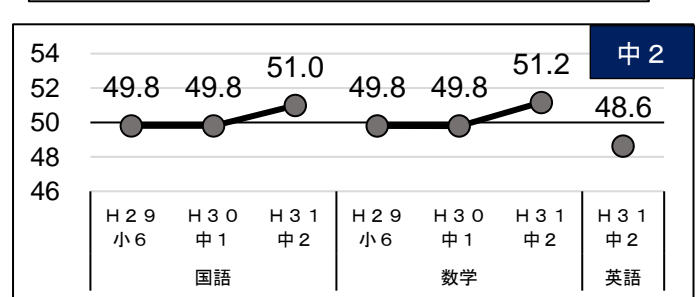
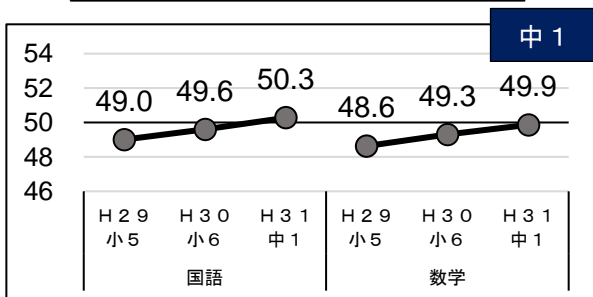
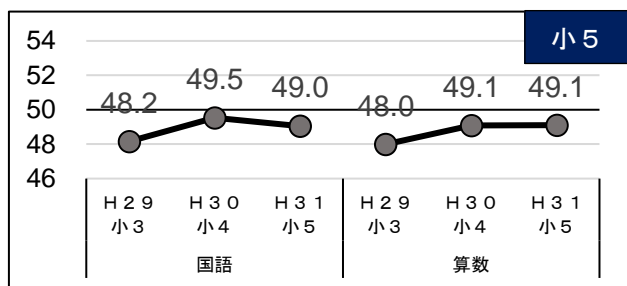
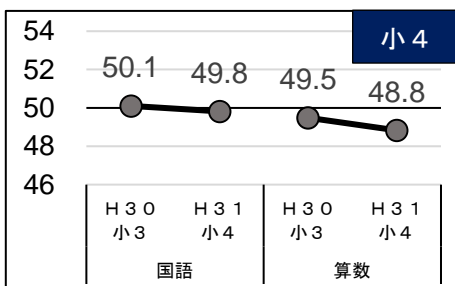
2 学力調査の結果

※本調査では、全国における平均正答率を50としたときの換算値（以下「標準スコア」とする。）を用いる。
なお、全国値は、調査結果返却時点の値である。

【標準スコア】

	学年	国語			算数・数学			英語		
		H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31
小学校	3年	48.2	50.1	50.9	48.0	49.5	49.1			
	4年	49.3	49.5	49.8	48.7	49.1	48.8			
	5年	49.0	49.5	49.0	48.6	49.3	49.1			
中学校	1年	49.9	49.8	50.3	49.5	49.8	49.9			
	2年	49.9	50.9	51.0	50.3	52.1	51.2	49.3	51.2	48.6

【同一集団における標準スコアの推移】



- ・小学校では、【標準スコア】は、3年生の国語を除いて全国値を下回った。【同一集団における標準スコアの推移】は、下降傾向である。
- ・中学校では、【標準スコア】は、1年生の数学と2年生の英語では全国値を下回った。【同一集団における標準スコアの推移】は、上昇傾向である。

3 学習状況調査の結果

【年度毎の肯定的回答割合〔単位：％〕】

(※「-」は、データ無し)

【学習習慣の確立】

- 1 自分で計画を立てて勉強をしていた。【学習計画】
- 2 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。【学習1h以上】
- 3 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯ゲーム機、スマートフォンを使ったゲームを含む）をしていましたか。【ゲーム1h未満】

	学年	学習計画			学習1h以上			ゲーム1h未満		
		H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31
小学校	5年	70.7	70.8	71.9	70.5	75.6	74.2	35.0	43.8	41.3
中学校	1年	70.6	66.2	69.7	75.0	82.1	83.0	30.0	36.8	31.6
	2年	59.7	56.4	59.1	64.7	71.0	74.4	26.6	34.3	32.0

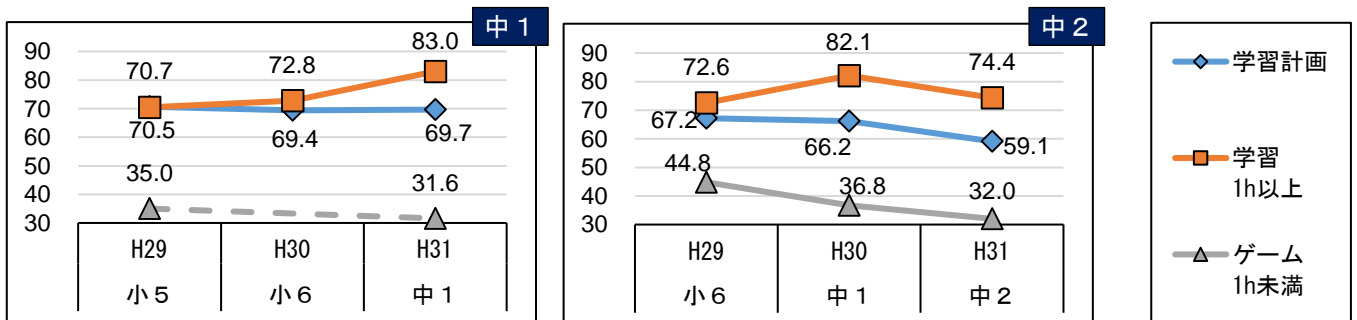
【授業改善の取組】

- 1 算数（数学）の授業の内容はよく分かる。【授業理解】
- 2 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。【課題解決的な学習】
- 3 授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。【対話的な学習】

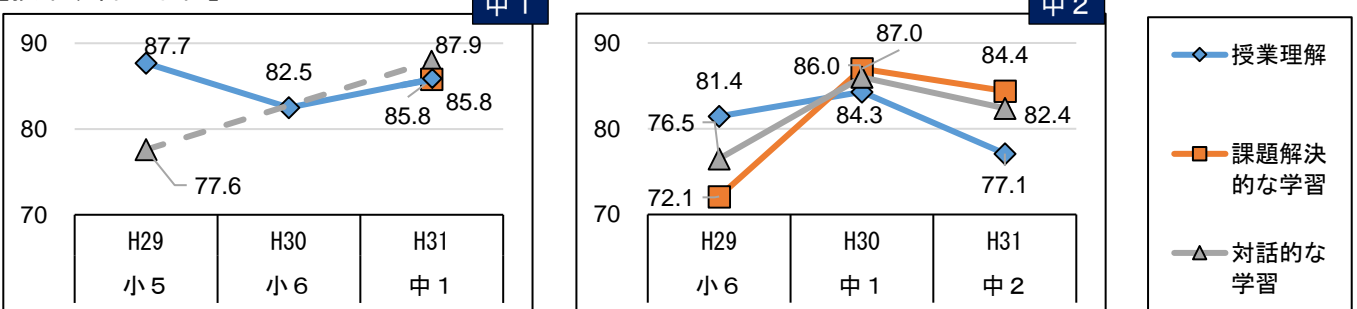
	学年	授業理解			課題解決的な学習			対話的な学習		
		H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31
小学校	5年	87.7	86.0	86.2	-	81.8	81.4	77.6	84.2	85.2
中学校	1年	84.6	84.3	85.8	-	87.0	85.8	78.3	86.0	87.9
	2年	74.2	76.4	77.1	-	81.5	84.4	68.3	79.7	82.4

【同一集団における肯定的回答割合の推移〔単位：％〕】

【学習習慣の確立】



【授業改善の取組】



・中学校において、【年度毎の肯定的回答割合】を比較すると、昨年度よりもゲーム1h未満以外は、肯定的回答割合が上昇しているが、【同一集団における肯定的回答割合の推移】では、中学校2年生における全ての項目で減少している。

4 設問から見える成果と課題

小学校国語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
3	2 (2) ①	第2学年配当漢字を書くことができる。	67.6	57.2	10.4
5	2(1) ④	第4学年配当漢字を読むことができる。	83.0	76.8	6.2

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
5	5 (3)	段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取ることができる。	35.3	40.4	-5.1
5	7	2段落構成で文章を書くことができる。	52.9	60.6	-7.7

- 漢字の読み書き等の知識を問う設問では、全国値を上回った。
- 段落の役割や関係を問う設問や指定された段落構成に従って記述する設問において、全国値を下回った。内容のまとまりで段落を作り、筋道立てて考えを表現することに課題がある。

小学校算数

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
5	1(5)	帯分数を含む同分母分数の加法、減法の計算ができる。	79.9	76.8	3.1
5	1(6)		83.9	81.6	2.3

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
4	5(1)	文章問題を解くための除法の式を選ぶことができる。	62.2	68.1	-5.9
5	1(4)	小数第一位－小数第二位（差が純小数）の計算ができる。	59.1	67.3	-8.2

- 同分母分数の加法、減法を計算する設問では全国値を上回った。
- 問題場面を表す式を選択する設問で全国値を下回り、文章から2つの数量の関係を捉え式に表すことに課題がある。改善が見られていた小数の加法、減法においても全国値を下回った。

中学校国語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	2 (2)③	小学校で学習した漢字を書くことができる。	58.4	39.1	19.3
2	3(1)	単語について理解している	81.3	69	12.3

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	7	3段落構成で文章を書くことができる。	62.7	69.5	-6.8
2	7	読み取った内容を明確にして書くことができる。	66.3	70.5	-4.2

- 漢字の書きや単語の理解を問う設問において、全国値を上回った。
- 1年生では、指定された段落構成で文章を書くこと、2年生では、指定された資料の特徴を書いたり、自分の考えとその理由を書くこと等において、全国値を下回った。

中学校数学

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	9(2)	反比例のグラフと式の関係について理解している。	62.0	53.8	8.2

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
1	20(3)	もとにする量が同じとき、割合が大きいほうが比べる量が多くなることを、具体的に説明することができる。	24.6	26.5	-1.9
2	16(1)	与えられた式から、2つの数量の関係が比例であることを判断することができる。	33.7	36.3	-2.6

- 反比例のグラフと式の関係について理解しているかどうかを問う設問で、全国値を上回った。
- 与えられた式から、2つの数量の関係が比例であることを判断できるかどうかを見る設問で全国値を下回った。また、数学的な表現を用いて理由を説明する設問で課題が見られる。

中学校英語

【成果】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	8(4)	英文を正しい語順で書くことができる。(疑問詞 what+名詞を使った疑問文)	35.1	28.4	6.7

【課題】

学年	設問番号	設問の概要	正答率 (%)		
			県	全国	差
2	5 (2)④	単語を正しく書くことができる。	35.0	48.9	-13.9
2	10	自分がよく行く場所について、まとめた内容で紹介する文を書き表すことができる。	42.5	50.9	-8.4

- 書くことの領域において、全国を上回った設問もあるが、全体的には全国値を下回る設問が多かった。特に、基礎的な英単語の習熟や自分の考えについて表現する設問に課題がある。

5 今後の取組

県教委の取組

【授業改善の支援】

- 知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の調和的な育成に向け、岡山型学習指導のスタンダードに基づきこれまで重視してきた授業5の視点に加え、教師が教える場面と児童生徒に考えさせる場面を単元に計画的に配置するなどの視点を大切にすることが必要であり、学習指導のスタンダード増補版を配付し、活用に向けた内容の周知や研修等を行い、さらなる授業改善を支援する。

【個に応じた指導の支援】

- 個に応じたプリントを作成できる Web 評価支援システムの積極的な活用を促すとともに、放課後学習サポート事業により、各学校が放課後等に実施する補充的な学習指導を支援する。

【望ましい学習習慣確立の支援】

- 中学校における家庭学習習慣定着を図るため、授業と家庭学習（宿題）を一体化させ、生徒の意欲を高める指導となるよう、5月に発行した家庭学習のスタンダード増補版に基づいた、サイクル（C）とフィードバック（F）の取組の実践を支援する。

【研修等での支援】

- 県教育委員会が実施する初任者研修等、各研修の内容充実を図るとともに、学力向上プロジェクトチームにおいて、授業改革推進リーダー・推進員が配置されている学校を中心に、県内の学力学習状況等について把握した情報を共有し、市町村教育委員会と協同して学校への指導の充実を図る。

各学校の取組

【授業改善の推進】

- 学力向上担当者を中心として、担任や教科担当が当該学年や教科における結果分析を実施し、全教員が学校全体の分析状況を共有し、共通理解に基づいた指導を推進する。

【個に応じた指導の徹底】

- 小テスト等により児童生徒のつまずきを把握し、その解消に向けて、必要に応じた解説や、個に応じた補充学習の実施等による定着の場を設けるとともに、再度課題を解く機会を設定し、定着状況を確認する。

【望ましい学習習慣の形成】

- 学習状況調査の結果を踏まえ、家庭学習のスタンダード及び増補版を活用し、授業と関連付けながら、短いサイクルで定着を図る「サイクル（C）とフィードバック（F）」の取組を実践し、学習内容の定着と学習習慣の形成を図る。

【参考】市町村別の状況

※ 学力調査の結果 標準スコア（教科別）

名称	小学校						中学校				
	3年		4年		5年		中1		中2		
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	国語	数学	英語
岡山県（岡山市を除く）	51	49	50	49	49	49	50	50	51	51	49
2 倉敷市教育委員会	51	49	50	49	49	49	50	49	51	51	48
3 津山市教育委員会	50	49	49	47	48	48	48	48	48	48	46
4 玉野市教育委員会	49	48	48	46	47	47	49	50	50	50	47
5 笠岡市教育委員会	50	50	50	51	49	48	50	50	49	49	47
6 井原市教育委員会	52	50	49	50	48	49	50	51	51	52	46
7 総社市教育委員会	51	50	51	49	50	51	51	51	52	51	50
8 高梁市教育委員会	51	49	51	50	49	50	49	48	50	51	48
9 新見市教育委員会	51	48	48	47	48	48	52	50	51	49	46
10 備前市教育委員会	51	48	49	49	48	48	48	48	51	51	49
11 瀬戸内市教育委員会	51	49	49	48	50	51	49	50	52	54	51
12 赤磐市教育委員会	49	47	50	48	49	48	51	50	50	50	47
13 真庭市教育委員会	51	49	49	49	48	48	50	49	50	50	47
14 美作市教育委員会	50	49	49	49	48	49	49	49	49	49	46
15 浅口市教育委員会	52	49	51	50	50	51	50	50	51	52	50
16 和気町教育委員会	51	51	48	47	50	49	50	48	49	49	46
17 早島町教育委員会											
18 里庄町教育委員会	51	49	48	47	50	49					
19 矢掛町教育委員会	53	52	51	52	53	51					
20 新庄村教育委員会											
21 鏡野町教育委員会	49	47	47	47	49	50					
22 勝央町教育委員会	52	51	50	50	49	47					
23 奈義町教育委員会											
24 西粟倉村教育委員会											
25 久米南町教育委員会	49	48	50	48	52	49					
26 美咲町教育委員会	52	51	50	50	50	49	49	48	50	48	46
27 吉備中央町教育委員会	50	48	52	50	49	49					
28 笠岡市・矢掛町中学校組合											
29 県立学校							62	62	62	65	63

※ 斜線の町村は、該当の学校が1校のため、公表の対象としない

※ 県立特別支援学校（小学部）は、受検者が少数であるため、公表の対象としない

※ 県立学校には、県立特別支援学校（中学部）、県立中学校・中等教育学校が含まれる。